



事業体(団体)名	横浜市水道局
事業名称	JICA草の根技術協力事業(地域経済活性化特別枠)「横浜の民間技術によるベトナム国『安全な水』供給プロジェクト」
実施期間	2014年4月～2015年3月
主催機関	横浜市水道局(JICA受託事業)
事業概要・目的	<p>2013年に横浜市水道局との技術協力10周年を迎えたフエ省水道公社を中心対象機関として、優れた技術を有する横浜水ビジネス協議会会員企業の優れた技術をベトナムに紹介し、水ビジネス展開を支援するとともに、ベトナム国中南部地域での水道事業の課題解決を支援し、安全な水の供給に貢献する。</p> <p>1. 実施形態 (1) 職員の派遣(打合せ、分野別現地調査、実技指導、ワークショップ)及び機材の現地搬入等 ・第2回現地業務(2014年7月13日～26日):横浜市水道局7人、横浜水ビジネス協議会会員企業3社 ・第3回現地業務(2014年11月25日～12月4日):横浜市水道局2人、横浜水ビジネス協議会会員企業1社 ・第4回現地業務(2015年1月11日～1月31日):横浜市水道局9人、横浜水ビジネス協議会会員企業3社 ※第1回現地業務は平成25年度</p> <p>(2) 本邦研修(講義、視察及び実技指導等) ・2014年10月20日～11月1日:フエ省水道公社3人</p> <p>2. 事業分野 ・給配水管改良 ・無収水対策 ・浄水場改良 ・データ管理 ・公民連携</p>
対象(相手)国・機関名	ベトナム国フエ省水道公社等
写真	

事業体(団体)名	横浜市水道局
事業名称	JICA課題別研修「アフリカ地域都市上水道技術者養成」
実施期間	2014年11月6日～12月3日
主催機関	JICA、横浜ウォーター(株)、横浜市水道局
事業概要・目的	<p>2008年5月に横浜で開催された第4回アフリカ開発会議を契機に、横浜市水道局は独立行政法人国際協力機構(JICA)と協力して、アフリカ諸国を対象とした水道分野の研修員受入を3か年の予定で実施してきた。</p> <p>2011年10月に横浜市・JICAとの包括連携協定が締結され、より一層強化された協力関係のもと、引き続き3か年の予定で同様の研修を実施し、アフリカの国々の水道を取り巻く環境の向上に貢献している。</p> <p>2014年度まで計8回(2013年度は英・仏語コース各1回実施)、27か国から89人の研修員を受け入れている。</p> <p>本研修事業は、総合的な視点での水道事業運営の強化及び同視点に基づく具体的改善方法について、研修参加者の組織内の技術者等関係者へ共有・普及することを目的としている。</p> <p>1. 実施形態: 日本国内で講義・実習・見学・意見交換等</p> <p>2. 実施内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前水道教室及び小学生との交流 ・水源管理 ・取水関係施設視察 ・水安全計画 ・拡張の歴史 ・水質管理 ・漏水防止対策と漏水探査実習 ・浄水場運営管理 ・配水管理 ・水道メータ維持管理 ・料金徴収及び顧客サービス <p>その他</p>
対象(相手)国・機関名	カーボベルデ(1)、モーリシャス(1)、マラウィ(2)、ナイジェリア(1)、南スーダン(1)、スーダン(1)、タンザニア(2)、エリトリア(1)、エチオピア(2)、ザンビア(2)、ルワンダ(1)
写真	

事業体(団体)名	横浜市水道局
----------	--------

事業名称	2014年度 マラウイ国上水道支援への横浜市水道局職員派遣事業
実施期間	2014年9月29日～10月28日
主催機関	JICA、横浜市水道局
事業概要・目的	<p>2011年10月にJICAと横浜市の間で締結した包括連携協定に基づき、JICAのボランティア短期派遣制度を活用して、アフリカ諸国へ職員を派遣し、現地水道事業体の課題解決を支援する。2013年3月のタンザニア連合共和国ザンジバル水公社への派遣に続き、2回目の2014年度は、3人の職員をマラウイ国ブランタイア水公社に派遣。</p> <p>1. 実施形態:職員派遣による現地水道事業体の課題改善に向けた支援等</p> <p>2. 事業分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無収水対策 ・施工監理 ・市民への啓発活動 等

対象(相手)国・機関名	マラウイ国ブランタイア水公社
-------------	----------------

